

# 2018年5月5日(土曜日)の産経新聞に 児童書「世界を救うパンの缶詰」の受賞について掲載されました!



**ニッポン放送賞** **世界を救うパンの缶詰** 菅聖子文

防腐剤無添加で3年間保存できる「パンの缶詰」。世界の災害現場や飢餓地域で人々を救ったこの缶詰を発明したのは、栃木県那須塩原市にあるパン・アキモト社長の秋元義彦さん。小さなパン屋さんさんが試行錯誤を経て缶詰を完成、世界進出を果たすまでを、ライターが取材してまとめた。

きっかけは阪神・淡路大震災。「やわらかくて保存のできるパンを」との被災者の声を聞き、自分の使命だと決意。1



996年秋に缶詰は完成したが、全く売れない。だが、防災の日に地元市役所に贈って話題になったことで注文が殺到。さらに賞味期限間近の缶詰を回収し、飢えに苦しむ人々に届ける「救缶鳥プロジェクト」など、世界に向けた取り組みにも積極的だ。「トラブルは神さまの計画」と捉え、困難を乗り越えてきた秋元さんの足跡や人柄が軽快に描かれ、気軽に読めて元気になる一冊。

ほるぷ出版・1400円+税

(東京子ども図書館理事長・張替恵子)

## 産経児童出版文化賞ニッポン放送賞を受賞致しました!